

# 村史編纂委員会が発足しました

5月20日(月)に第1回佐那河内村史編纂委員会を開催しました。

昭和63年(1988)に『佐那河内村史続編』が刊行されてすでに36年の歳月が経過しました。そこで、この間の取りまとめや既刊村史の不備等を修正して『新修佐那河内村史』の編纂に取り組むものです。「新ものがたり創出事業」の一環として着手しました。

今後は、村民のみならずにも「協力委員」としてさまざまなかたちで参画していただく予定にしています。ご協力いただきますようお願いいたします。



## 〈佐那河内村史編纂委員会〉

〈敬称略〉

委員長	高橋 啓	鳴門教育大学元学長
副委員長(地理)	平井 松午	徳島大学名誉教授
自然〔地学〕	西山 賢一	徳島大学理工学部准教授
考 古	中村 豊	徳島大学総合科学部教授
古代・中世	長谷川賢二	徳島県立博物館前館長
近 世	町田 哲	鳴門教育大学教授
近 現 代	佐藤 正志	摂南大学名誉教授
民 俗	高橋 晋一	徳島大学副学長・総合科学部長

## 佐那河内 史料散策 その10

天正13年(1585)に長宗我部元親を降伏させた羽柴(豊臣)秀吉は、尾張時代から臣従してきた蜂須賀正勝の子家政に阿波国を与えました。この時に佐那河内村を拝領したのが樋口内蔵助です。

ところで、徳島大学附属図書館に「蜂須賀家家臣成立書并系図」が所蔵されています。これは徳島藩士各家が代々の家督相続者について、召し出された日付や隠居・死亡の期日、役職名や禄高、さらに系図や家紋などを書き上げて藩に提出したものです。天保5年(1834)に作成され、その後文久元年(1861)に書き継がれています。

この「蜂須賀家家臣成立書并系図」には樋口家の家譜も残されており、佐那河内村に居住したことや九州島津攻め、文禄慶長の役、大坂の陣に出陣し、徳川家康から感状を得たことなどが記されています。

